

まごころ

第60号

発行日 平成26年10月1日
発行 星が丘地区社会福祉協議会
相模原市中央区星が丘3-1-38
星が丘公民館内
TEL042-755-9955
編集 広報紙編集委員会
館区内人口 17,300 (男 8,715人 女 8,585人)
世帯数 7,355 (平成26年4月1日現在)



敬老の お祝い



今年度も88才と100才の方にお祝い金、77才以上の方にお菓子を民生委員がお配りしました。
袋にお菓子と敬老会、運動会のお知らせと共に振込めサギに注意のパンフレットも入れました。
「あら、いいんですか？ありがとうございます」と皆さん笑顔でおっしゃって下さいました。

敬老会 (77才以上の方対象)
9月15日 星が丘公民館
芸能 (歌と踊り) 「和歌声会」
10月12日
午前 千代田7丁目自治会館
午後 デイサービス「やよい」
落語 「立川志獅丸」
津軽三味線 「青森県南部会」



お年寄りと園児の七夕交流会



かわいい歌声で交流会が始まりました

6月25日(水)に千代田保育園で行われたお年寄りとお年寄りの七夕交流会に、今年も千代田7丁目ゆめクラブ(老人クラブ)のみなさんが参加されました。この交流会は、園児の祖父母との交流会でしたが、祖母の母の中にゆめクラブの方がいらしたことから、ここ10年ほど前からゆめクラブのみなさんとの交流会が始まりました。

交流会では、園長先生のあいさつの後、ひまわり組(年中)の園児達が「おつかいありさん」の歌を歌い、こぶた、たぬき、きつね、ねこ、としりとりになっている手遊び歌「こぶたぬきつねこ」では、お年寄りのみなさんも一緒に輪唱のように園児達の後に続けて動物のまねをしながら歌いました。続いて、すずらん組(年長)の園児達が「森のくまさん」をハンドベル、カスタネット、タンバリン、鈴を手に先生の伴奏に合わせて合奏し、そして「雨ふりくまの子」の歌を歌いました。
園児達の発表の後、すずらん組の園児達とお年寄りのみなさんが、一緒に七夕の笹飾りづくりをしました。お年寄りのみなさんは短冊に願い事を書き、園児達は折り紙で作られた織り姫とひこ星に目や口を書いたりしました。初め園児達はおじいちゃん、おばあちゃん隣の席に座った時、少し緊張した様子で恥ずかしそうにしていたが、すぐにおしゃべりしながら和やかな雰囲気になりました。園児達と共同作業できれいに飾られた笹飾りがそれぞれ出来上がり、その中からひとつづつ短冊が紹介されました。「いつもげんきがありがとう、おばあちゃんもがらるね」と書かれていました。この短冊の言葉どおり、園児達との交流を通して、お年寄りのみなさんは、さらに元気をいっぱいもらっているのだと思います。



七夕飾りが綺麗に出来ました

そして、園児達もお年寄りのみなさんと触れ合うことで、やさしい思いやりの気持ちを育むことができるのだと思います。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後はみんな「七夕」の歌を歌って交流会は終わりました。園児達は声を揃えて元気に大きな声で「ありがとう」と言った後、お互いに「バイバイ」と笑顔で手を振りながら、教室へと戻っていきました。次の楽しみは12月のクリスマス交流会です。

はじめまして 社会福祉法人県央福祉会 ピッコリーナです。

県央福祉会ピッコリーナは障がいがある人たちが、日中活動を通して社会参加をすることを目的とする施設です。

ピッコリーナ(piccolina)とは、イタリア語で小さくてかわいいという意味です。

障がいがある人たちが働くことを通して、社会とかわかりを深めるとともに自信や誇りをもって地域で暮らすことを支えます。小さくても地域でキラリと光る施設を目指します。

建物左側には小さな町のカフェ、「カフェ・piccolina」(営業時間10時30分~17時、日曜、祭日休み)を併設しています。手作りピザやシフォンケーキ、おいしいコーヒーやハーブティーをご用意して皆様のご来店をお待ちしています。



ピッコリーナ祭のお知らせ

日にち 10月11日(土曜日)

時間 午前10:30~午後14:30

場所 県央福祉会ピッコリーナ

おいしいオープンカフェやミニコンサートなどを行います。是非、遊びに来てください。



社会福祉法人 県央福祉会 ピッコリーナ (生活介護)

〒252-0238
相模原市中央区星が丘4丁目16-16-1
TEL 042-768-6086
FAX 042-752-1563

視察研修で人権啓発の拠点

「東京都人権プラザ」へ

同和問題（部落問題とは）

6月17日星が丘地区社協と星が丘地区自治連合同で人権行政の先進都市東京にある「東京都人権プラザ」への視察研修を39名で実施しました。

※東京都総務局人権部人権施策推進課発行
「明るい社会を目指して」
— 同和問題の理解のために — より抜粋

私たちは皆自分の存在と尊厳が守られ、自由に幸せを求めることが出来る権利「人権」をもっています。しかし、女性や子ども・高齢者・障がい者、また同和問題等、弱者に対する人権侵害が起きています。

そうした差別や偏見をなくするため、東京都は「東京都人権施策推進指針」を定め、この指針に基づき「東京都人権プラザ」を設置して人権啓発の拠点としました。

視察の内容としては、人権プラザ専門員の坂井新二氏による、わが国固有の人権問題である同和問題（部落問題）について、「部落の歴史」というビデオ上映と被差別部落の成り立ち、鼠小僧次郎吉や吉田松陰など20余万人が処刑された小塚原刑場（仕置場）や牢死した遺骸を処置するための回向院などについて詳しく解説していただき、同和問題に対する新たな知識を得ました。

この研修によって、私たちにとって大切な事は、誰もが幸せに暮らせるようお互いを思いやり、人権を尊重する社会を築いていくことがとても大切だということを痛感しました。

封建時代の身分制度や歴史的、社会的に形成された人びとの意識に起因する差別が、さまざまなかたちで現れている人権問題です。

現在もお、

同和地区（被差別部落）の出身という理由でさまざまな差別を受け、基本的な人権を侵害されている人びとがいます。封建時代において、えた、ひにん等と呼ばれていた人びとは、武器、馬具や多くの生活用品に必要な皮革をつくる仕事や、役人のもとで地域の警備を行うなど、生活に欠かせない役目を担っていました。が、住む場所、仕事、結婚、交際など、生活のすべての面できびしい制限を受け、差別されてきました。



人権プラザ専門員による解説

出前映画会



7/2
7/3

「あれから40年・・・」のセリフで始まった高齢者支援センター吉岡・佐藤ご両人の軽妙な掛け合いに、幕開けから笑いの渦、とはいえコントの自身は、いつ途絶えるとも知れない「オレオレ詐欺」に注意を促すシビアなものでした。また、この時期心配される熱中症の話では、水分の正しいとり方についてのアドバイスがありました。続いて座ったままでの軽い体操で、心身ともにほぐれたところで「出前映画会」は始まりました。

映画は、綾小路きみまろのライブ、すでに何度か見たことのありそうな内容にもかかわらず、次から次へと続く話術と仕草のおかしさに、思わず屈託のない笑いが湧いていました。会場の千代田7丁目自治会館がほぼ満員となる60名近い来場を得て盛況でした。

映画の後のお茶の席には、およそ半数に近い方々が残り、お茶菓子の塩羊羹と歓談を楽しんで帰路に着かれました。映画もさることながら、お茶の時間は特に好評のようです。

翌日には、横山2丁目自治会館でも同じ内容で「出前映画会」が行われました。次は10月に開催します。



絶妙な掛け合いの2人



きみまろの映画に笑いの渦

いこいの広場開催状況

星が丘地区いこいの広場

平成25年11月24日に第1回いこいの広場を開催してから満1年を迎えるようとしています。

お客さんは、幼児から学生、成人、高齢者と様々な年代の方が、趣味のコーナーでの折り紙、手芸、将棋などを楽しみ、食事時間になると料理実習室でのカレーやコーヒーマスターなどの飲食を楽しんでいます。月一回のいこいの広場を楽しみにしている常連さん。ふと公民館に立ち寄って交流を楽しんでいる親子連れや若い人達。あらゆる世代が集える憩いの場、交流の場となっています。

10月19日（第3日曜）はいこいの広場開設1周年を祝して、コーヒーマスターを無料にてサービスいたします。

千代田いこいの広場

いこいの広場千代田会場（千代田7丁目自治会館）は、第1回の実行委員会を平成25年9月13日に開催、同年11月15日に手探り状態でのおためしオープンに漕ぎ着けました。幸い予期しない程多くの方々が詰めかけて下さり、担い手を含め70名以上の大盛況となりました。

平成26年3月11日の正式オープン以来毎月第2金曜日に実施していますが、毎回60名程の方々が各地域から遊びに来ていただいています。

隣接する広場ではランドゴルフ、ペタンク、室内では小物づくり、囲碁将棋など、そしてコーヒーマスターなどの軽食と、皆さんそれぞれに楽しみを見つけて賑やかなひと時を過ごしておいでです。

地域を問わず参加いただけます。皆さんのご来場をスタッフ一同心よりお待ちしております。

グローバルパッケージ



株式会社 井村電気商会
本社: 相模原市中央区千代田7-1-10
TEL: 042-756-6629
http://www.rotarybagmiyamoto.co.jp E-mail: rbm@rotarybagmiyamoto.co.jp



電気設備・設計・施工

株式会社 井村電気商会

〒252-0238
神奈川県相模原市中央区星が丘1丁目1番20号
TEL: (042) 752-0267
FAX: (042) 753-8484

50th Anniversary
心をこめてありがとうございます
これまでも これからも感謝とともに

医療機器、福祉用具販売・レンタル、住宅改修
ヘルスケアさがみ
〒252-0242 相模原市中央区横山2-15-8
☎042-756-5556
笑顔あふれる いきいきとした人生を応援します



地域の皆様お誘い合わせの上、
いろいろな模擬店でおいしい物
を食べたり、バラエティーにと
んだステージを楽しんでいた
だき、是非バザーにも足を運ん
でいただいて掘り出し物を見つ
けてください。
楽しみにお待ちしています。

昨年度バザーの様子 (中)



**バザーの収益金は、星が丘地区社協の
福祉事業に役立たせていただきます。**



昨年度バザーの様子 (外)

**第28回 福祉バザー
10月26日(日) 開催**



今年の福祉バザーは、10月26日(日)星が丘地区フェスティバルと同時に、星が丘小学校校庭での開催となります。

バザー提供品は、毎年各自治会を通して地域の皆様からたくさん品物を提供していただいております。今年もご協力をお願い致します。詳細等は、自治会からの回覧でお知らせします。

なお、提供品は10月17日(金)までに各自治会担当者の方へ、また直接地区社協事務局(公民館)へお持ち込みされる方は、10月18日(土)朝9時より5時までに、地区社協事務局にお渡しください。

**第2回 星が丘防災スクールに
45名の小中学生が参加**

小中学生の時代から、地域に関心をもち、災害時には地域のために活動できる人を育てようというねらいで始まった「星が丘防災スクール」も、今年で2回目です。8月23日の土曜日、公民館に45人のたくましい小中学生が集まりました。講師は、相模原市赤十字奉仕団の皆さんです。開校式の後、6つのチームを編成し、防災スクールの開校です。

**■ AED、ロープワーク、
そして車イスを体験**

始めに、AED・ロープワーク・車イスの体験です。

AEDは、その使い方を学びました。倒れている人を発見したら、どのように対応するのか、心臓マッサージから始まり、実際にAEDを体験しました。

ロープワークは、災害時、ロープを使ってテントを組み立てたりする時に必要な技術です。「巻き結び」と「自在結び」を学びました。

車イス体験では、ケガをした人を車イスで運ぶことを想定し、その開閉、段差の上がり方や下り方を学びました。

どの体験にも、真剣に取り組んでいる姿が見られました。



■ テント張りにチャレンジ

続いて、ブルーシートを使ってのテント張りです。災害時、着替えをするなど、テントが必要になった時に手に入りやすいブルーシートを使ってテントを張る方法を学ぶのです。

小学校の校庭で張るはずでしたが、雨が降ってきたため、急遽公民館内で行いました。講師の人が張り方を実演した後、グループ毎にチャレンジしました。全てのグループが張る事ができました。

■ 閉校式

昼食の後、閉校式です。講師から、「どの班もテントを張る事が出来た。皆さんが災害時、地域の要となるのですから、がんばって下さい」という言葉をいただき、修了証と記念品を受け取り終了いたしました。





ちよだ保育園分園

ムーミン

あかるく 広々とした
乳児専用ルームです！
家庭的なあたたかい保育が特徴です！
遊びに来て下さいね！



住所 相模原市中央区千代田 4-2-15
電話 042-810-7711
★保育園見学★
電話連絡の上、ご来園ください。



相模原 ラ・ターブル

La Table



ラ・ターブルでは、手造りの心のこもったお弁当を御用意いたします。
各種イベント、御家族でのパーティー、運動会などお好みのスタイルでお届けします。
お料理のお好みなど、何なりと申しつけください。
フレンチのシェフのお料理をお楽しみ下さい。

相模原市中央区横山 3-33-9
TEL.042-755-0971
FAX.042-755-0976



煎茶・深蒸茶・茎茶・ほうじ茶・玄米茶・抹茶
豆乳プリン・クッキー・健康ごま飴・ラスク
明王茶園 相模原市中央区千代田 2-5-10
042-753-4044

きて!みて!子育てサロン



千代田子育てサロン (千代田7丁目自治会館)

5月で100回を迎えた千代田子育てサロン。8月は真夏の厳しい暑さの中、生後3ヶ月の赤ちゃんから1才未満の乳児が半数を占め、参加者は10名でした。

ボランティアはいつもの民生委員とそのOBの方々、他に中学生男子と高校生女子計2名と一緒に遊んでくれました。つき添いにパパもおじいちゃんも一家皆さんで来て下さり盛況でした。今年度からサロンでいつでも育児相談が出来るように保健士さんも参加しています。

また、この日はベビーマッサージの指導に来てくださった方や、お母さんの中に元保母さんがいて、みんなに遊び歌を教えてくれたので、全員楽しく過ごしました。

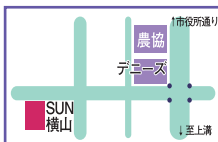
8月のサロン風景



皆さんこんにちは。ワークシヨップ・SUN横山は、小町通りにあるワークシヨップ・SUNの事業拡大に伴い、平成25年3月より横山2丁目に開設された就労継続B型事業所※(定員20名)です。

ここでは、20代から40代の方に、地域で自立した生活を営む事が出来るよう支援をしています。

特に、通所している方々の「働きたい!」という気持ちを大切に、生産活動に力を入れ、衛生用品の検査・梱包、CDやDVD、PCの解体作業に取り組んでいます。その中で、訓練や様々な社会経験を重ねていき、福祉的就労の場としてできるだけ高い賃金を得ていただくこと、さらに一般企業等への就労を実現頂くことを目指しています。因みに、平成24年度実績ですが、就労継続B型事業所の月額平均工賃が、全国で14,190円、神奈川県では12,817円となっている中、37,616円と全国平均を大幅に上回る実績を残すことが出来ています。



相模原市中央区
横山2-7-7
Tel.042-707-1831

生産活動のほか、余暇活動では、映画鑑賞会やバーベキュー、地域清掃など仕事以外の様々な活動を行っています。中でも地域清掃はメンバーに人気の企画です。清掃中、近隣の方でお声をかけて下さる方もいらして、とても嬉しく思っております。今後も、皆様のお力をお借りしながら、地域社会の一員として歩んで参りたいと思っております。引き続き、宜しくお願いいたします。

※障がいのある方に自立、社会復帰を支援する作業所です。

ワークシヨップ・SUN横山

社会福祉法人 すずらの会

これからの事業

10月 1日(水) 赤い羽根街頭募金 (オーケー相模原店 中村書店)

10月26日(日) 第28回福祉バザー・高齢者顕彰 (星が丘地区フェスティバル 10時~)

出前映画会「若草物語」 9時30分~12時

10月30日(木) 千代田6丁目自治会館

10月31日(金) 星が丘公民館

11月22日(土) みんなのつどいフェスティバル 10時~

12月 7日(日) 福祉学習会 10時~

月に一度、公民館で「童謡・唱歌を歌う会」に参加させて頂いている。「音が外れても良いから大きな声で」とおっしゃる小林先生の明るく楽しい指導のもと、おなかの底から息を吐いて大きな口をあけて歌う。会の前半は「花は咲く」等新しい歌。後半が童謡であつという間に一時間半が過ぎる。こんなに夢中で心満たされるひと時と出会えて幸せだと感謝している。

今、いこいの広場や、サロン、映画会、フェスティバルなど地域で様々な催しが行われている。皆様もぜひ楽しいひと時を過ごされますようご参加下さい。

編集後記

どうぞよろしくお願いいたします



内田 大 大 中 奥 中
田 箭 沢 山 原
森 鈴木 中
障がい者施設 民生委員 青少年指導員 星小PTA 館長 委員長 福祉経験者
●森 路子 ●内田 涼子 ●大 有子 ●中沢美津子 ●奥山 憲雄 ●鈴木 末廣 ●中原庄三郎

平成26年度 広報編集委員です

キャップ・プルタブの回収数

	26年3月~8月	19年~累計
ペットボトルキャップ	147.7kg	2,186.6kg (ワクチン約1,096人分)
プルタブ	15.6kg	304.8kg (約ドラム缶2本目)
・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり、NPOエコキャップ推進協会より発展途上国に送られます。 ・プルタブはドラム缶約7本で車椅子1台と交換できます。		

住み慣れた地域で「我が家」で「ずっと」...

上溝緑寿会は、みなさまが「ずっと」地域で、我が家で、生き活きと暮らし続けることをお手伝いする専門職の集まりです ☆「4つの拠点」でみなさまと「ともに」地域を支えます



コスモスセンター (特養・ケアハウス・居宅・地域包括)



グリープホーム秋桜&認知デイ秋桜

かみみそりよくじゅかい
社会福祉法人 上溝緑寿会
〒252-0243
相模原市中央区上溝 5423 番地5
TEL 042-768-1801
FAX 042-768-1665



ずっと我が家 上溝本町 (ショートステイ・デイ・ヘルパー)



相模原市立 星が丘デイサービスセンター
星が丘高齢者支援センター (地域包括支援センター)